

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 新潟放送

コード番号 9408 URL <http://www.ohbsn.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹石 松次

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長

(氏名) 赤塚 幸

TEL 025-267-4111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,040	△14.6	△256	—	△236	—	△174	—
23年3月期第1四半期	4,731	9.5	△49	—	△30	—	△60	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △252百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △213百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△29.13	—
23年3月期第1四半期	△10.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,748	12,327	59.8
23年3月期	19,892	12,610	57.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,210百万円 23年3月期 11,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,941	△5.0	△305	—	△289	—	△195	—	△32.50
通期	20,765	2.3	451	29.3	454	20.7	191	12.4	31.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,000,000 株	23年3月期	6,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	640 株	23年3月期	581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	5,999,409 株	23年3月期1Q	5,999,479 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
（6）重要な後発事象	10
5. (参考) 四半期財務諸表(個別)	10
（1）個別経営成績	10
（2）個別財政状態	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動の低下や、震災後の個人消費意欲の低迷に加え、電力不足問題、円高の進行等により先行き不透明な厳しい状況で推移しました。

放送業界におきましては、ラジオ、テレビともに震災の影響による広告の出稿減やイベントの中止等により厳しい状況が続きました。

また、情報サービス業界におきましても、企業による情報システムへの投資計画の縮小、延期等、依然としてIT投資抑制傾向にあり、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第1四半期における連結売上高は40億4千万円（前期比85.4%）となり、前年同期に比べ6億9千1百万円の減収となりました。一方で、営業費用は前年同期に比べ4億8千4百万円減少し、利益面におきましては、営業損益は2億5千6百万円の損失計上（前期は4千9百万円の損失計上）、経常損益は2億3千6百万円の損失計上（前期は3千万円の損失計上）となり、四半期純損益では1億7千4百万円の損失計上（前期は6千万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

放送事業におきましては、ラジオ、テレビともに震災の影響を受け、レギュラースポンサーによる番組の中止や、収入の大きな柱であるテレビスポットにおいて出稿減が相次ぎ厳しい状況となりました。また、その他の収入においては、前期に実施した大型イベントに匹敵する規模の催しがなかったこともあり、前期を下回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は15億8千2百万円（前期比82.8%）となり、営業損益では6千3百万円の損失計上（前期は9千8百万円の利益計上）となりました。

情報処理サービス事業におきましては、情報システムへの投資マインドに依然として回復の兆しが見られず、ソフト開発収入及び販売収入面で苦戦を強いられました。

この結果、当第1四半期の売上高は20億5千4百万円（前期比87.5%）となり、営業損益では1億7千8百万円の損失計上（前期は1億6千7百万円の損失計上）となりました。

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内におけるホテル間の競争が依然として厳しいなか、震災の影響による宴会等の自粛や延期が続き、宿泊部門、レストラン部門等いずれも前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は2億6千1百万円（前期比78.1%）となり、営業損益では2千6百万円の損失計上（前期は5百万円の利益計上）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、施設管理部門において大型工事の見送りや延期により減収となったほか、保険、メディアの各部門でも前期実績には届きませんでした。一方、不動産収入は、駐車場利用の増加などにより増収となりました。

この結果、当第1四半期の売上高は2億6千2百万円（前期比99.7%）となり、営業利益は1千万円の計上（前期比85.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は187億4千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億4千3百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が70億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ13億8千6百万円減少しております。これは主に現金及び預金が2億9千4百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が14億8千7百万円減少したことなどによります。固定資産では、117億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億4千3百万円の増加となりました。これは主に取得により土地が3億6千1百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債が36億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億5千7百万円減少しております。これは主に未払金で6億8千5百万円、短期借入金で1億5千7百万円それぞれ減少いたしました。賞与引当金が1億8千1百万円増加したことによるものであります。固定負債は27億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円の減少となりました。これは主に長期借入金で1億7千9百万円増加しましたが、役員退職給付引当金が1億3千5百万円減少したことなどによります。

純資産の部では、利益剰余金の減少1億9千7百万円、その他有価証券評価差額金の減少1千6百万円及び少数株主持分の減少6千9百万円などにより123億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億8千3百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は59.8%となり、前連結会計年度末に比べて2.4ポイント増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降の見通しにつきましては、東日本大震災後に落ち込みを見せた生産活動は、徐々に持ち直しつつあり、個人消費や企業マインドも改善へと向かう兆しも一部で見られるものの、電力不足問題や円高の進行等、先行きに関しては不透明感が拭い去れず、楽観視はできない状況と思われま

す。このような景気見通しのなかで、当社グループは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつきめ細かな営業活動とサービスの提供に努め、収益の確保に傾注いたします。

放送事業におきましては、テレビのローカル編成の改編等による視聴率の改善によりスポット収入の増加を図り、情報処理サービス事業におきましては、安全・安心の観点からデータセンター利用の営業活動を積極的に行うなど自治体等の発注案件のさらなる獲得に努めるとともに、民間企業に対する営業活動を推進してまいります。また、引き続き、各事業部門におきまして、さらなるコストの削減を図ります。

以上の見通し及び方針に基づき、業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想、個別業績予想ともに数値を修正しております。なお、平成24年3月期の通期業績予想につきましては修正していません。

詳細につきましては、平成23年8月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,666,785	2,961,063
受取手形及び売掛金	4,073,879	2,586,378
有価証券	286,906	286,969
商品	97,565	130,792
原材料	16,222	16,117
仕掛品	242,554	365,419
繰延税金資産	258,572	258,517
その他の流動資産	766,183	411,866
貸倒引当金	△11,304	△6,659
流動資産合計	8,397,364	7,010,465
固定資産		
有形固定資産合計	7,598,521	7,793,997
建物及び構築物（純額）	3,557,385	3,512,882
土地	1,963,181	2,324,664
リース資産（純額）	763,505	724,801
その他（純額）	1,314,450	1,231,649
無形固定資産	290,532	278,891
投資その他の資産合計	3,605,679	3,664,952
投資有価証券	1,584,489	1,614,847
繰延税金資産	1,233,139	1,244,128
その他の投資及びその他の資産	834,535	851,688
貸倒引当金	△46,484	△45,712
固定資産合計	11,494,733	11,737,841
資産合計	19,892,097	18,748,306
負債の部		
流動負債		
未払金	2,334,716	1,649,128
短期借入金	1,085,800	928,640
賞与引当金	410,186	591,999
その他の流動負債	688,084	491,712
流動負債合計	4,518,786	3,661,479
固定負債		
長期借入金	1,159,500	1,339,210
リース債務	605,081	563,377
退職給付引当金	369,668	365,952
役員退職慰労引当金	347,188	212,169
その他の固定負債	281,359	278,927
固定負債合計	2,762,797	2,759,636
負債合計	7,281,583	6,421,116

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,296,509	11,099,263
自己株式	△425	△444
株主資本合計	11,601,834	11,404,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177,381	△193,808
その他の包括利益累計額合計	△177,381	△193,808
少数株主持分	1,186,061	1,116,429
純資産合計	12,610,513	12,327,190
負債・純資産合計	19,892,097	18,748,306

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
売上高	4,731,889	4,040,785
売上原価	3,478,209	3,040,983
売上総利益	1,253,679	999,801
販売費及び一般管理費	1,303,189	1,256,125
営業損失（△）	△49,509	△256,323
営業外収益		
受取利息	427	254
受取配当金	21,796	22,656
受取賃貸料	1,685	1,581
その他	5,067	5,718
営業外収益合計	28,977	30,211
営業外費用		
支払利息	9,506	9,275
その他	547	845
営業外費用合計	10,054	10,120
経常損失（△）	△30,586	△236,233
特別利益		
補助金収入	—	14,427
貸倒引当金戻入額	6,187	—
その他	37	1,062
特別利益合計	6,225	15,489
特別損失		
固定資産除却損	371	776
その他	—	5,643
特別損失合計	371	6,419
税金等調整前四半期純損失（△）	△24,732	△227,163
法人税等	91,144	8,801
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△115,877	△235,964
少数株主損失（△）	△55,048	△61,216
四半期純損失（△）	△60,828	△174,748

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115,877	△235,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,059	△16,561
その他の包括利益合計	△98,059	△16,561
四半期包括利益	△213,936	△252,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158,756	△191,174
少数株主に係る四半期包括利益	△55,180	△61,351

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,879,604	2,333,146	328,272	190,866	4,731,889	—	4,731,889
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,681	14,350	6,621	72,030	123,683	△123,683	—
計	1,910,285	2,347,496	334,894	262,896	4,855,573	△123,683	4,731,889
セグメント利益又は損失 (△)	98,729	△ 167,222	5,126	12,870	△ 50,496	987	△ 49,509

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注 2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,552,062	2,037,103	255,838	195,780	4,040,785	—	4,040,785
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	30,082	17,566	5,981	66,570	120,202	△120,202	—
計	1,582,145	2,054,670	261,819	262,351	4,160,987	△120,202	4,040,785
セグメント利益又は損失 (△)	△ 63,582	△ 178,607	△ 26,137	10,965	△ 257,361	1,038	△ 256,323

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. (参考)

平成24年3月期第1四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,582	△17.2	△64	—	△27	—	△16	—
23年3月期第1四半期	1,910	15.6	98	—	134	693.7	54	761.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	△2	76	—	—
23年3月期第1四半期	9	16	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第1四半期	11,162	9,212	9,212	9,212
23年3月期	11,535	9,268	9,268	9,268